

野田卯太郎 （むらた まつろう） 政治家、農業家。嘉永八年（一八五五）十一月二十九日生れ、昭和（一九二六）一月二十二日没（一九三一年一月二十七日）。號大塊。縣議を経て

明治二十九年県議院議員（審議會十回）。二十九年から憲政友會結成に加わり、大正元年幹事長、七年總幹事、十一年商工相選任。その後二池訪議

株式會社社長の他、多くの會社董役を務め、國士館、青山會館と創設するなど足跡多大。一方明治四十一年頃（角田行介の門に入り句作、『萬葉集』）から、

文部省へ入る。

著書『大塊句選』（坂口）前編、昭和十四年（一九三九）十二月野田俊作刊）等の他、『野田大塊翁十二回小説傳錄』（昭和十四年八月五日中根榮編写。『大塊句選』附録）がある。

